

## 子育てと仕事の両立支援

### 「ハローワーク大森」

### 「マザーズコーナー」

じっくり相談

きめ細かいサポートで就職へ

都内8か所のハローワークに設置された「マザーズコーナー」。そのひとつがハローワーク大森の3階にあります。サービスを利用できるのは「末子が小学生以下、または母子家庭の母」。子育て中の女性就職支援に特化しています。

統括職業指導官・長田さんと、マザーズコーナー専任担当子育て支援連携推進員・小林さんに利用のポイントを聞きました。

「担当制で、きめ細かいサポートを行っているのが特長です。相談は予約制で45分、マンツーマンでじっくり向き合います」と長田さん。

「一人ひとりの状況を伺ってから、希望に沿う求人情報を探し、保育園や児童館などの情報提供もします。面接、履歴書の書き方から添削の対応、模擬面接も行います。何度か相談を重ねていくうち、『働いたことがないから不安』といった顔つきが、だんだん

輝いてきてメキメキ成長を感じる方もいます。就職の報告をもらった時はとても嬉しい。就職までの支援がメインですが、就職後の状況も見守るなど職場定着に向けたサポートもしています」と小林さん。

「まだ数は少ないですが、マザーズハローワーク東京と都内マザーズコーナーに限定した、両立支援に理解のある会社求人情報も掲示しています。求人検索パソコンも2台あるので、キッズスペースでお子さんを遊ばせながら情報を見てもらえます」とも。

こうした様々な支援が得られ、またそれを1か所で受けられる「就職のためのワンストップサービス」といった利便性が高い就職率につながっているそうです。

### 需要と供給のマッチングに貢献 求人開拓推進員

ハローワークには、企業を回って求人を探して探す求人開拓推進員がいて、需給をマッチさせる仕事もしています。

その一例として一夫が在宅する深夜に働けたらと希望されたお母さん、マザーズ担当者として求人開拓推進員との連携でファストフード店への就職が決ま

りました。その後、求人開拓推進員は、真面目で意欲のある方が来てくれたと、お店から喜ばれたそうです。

### マザーズコーナーが応援 働きたい気持ちから行動しよう

「お子さんの保育施設が決まれば9割がた就職が決まります。利用者のほとんどは大田区在住の方。働く女性は増えていきますし、最近は正規雇用を希望する母子家庭のお母さんも多くなっていると感じます」。

こうした状況からも、子育て中の働きたい女性を応援する「マザーズコーナー」が区内にあるというのは、心強い環境です。

実は、小林さんもハローワーク大森に就職に訪れた一人です。不登校や引きこもり児童の心理カウンセラーとしての知識を生かせる場を探していたところ、縁あって大森マザーズコーナー専任担当職に。この仕事のため、産業カウンセラーやキャリアカウンセラーの資格も取得したそうです。

「お子さんと一緒にまずは足を運んでみてください」と小林さん。働きたい気持ちに行動をプラスしたら、可能性が広がると太鼓判を押します。

## 東京都の女性の就職支援も活用

### 「東京しごとセンター」

協力企業で職場体験ができる  
10日間のサポート  
プログラムが充実

東京都の雇用・就業の支援機関が飯田橋にある「東京しごとセンター」です。ここではヤング、ミドル、シニアの年代別に、就業相談などを受け付けます。

女性に向けては、出産や夫の転勤、看護で離職を余儀なくされた人などの再就職を支援するプログラムが充実しています。中でも人気なのが、企業の協力を得て行っている「女性向け再就職サポートプログラム」です。

このプログラムは年度8回実施、各10日間、離職中の人を対象としています。働く勘を忘れていたり、スキルが古くなっていたりする人に、職種別の基礎知識からスキルをアップ、実際の職場を体験することで、もう一度自信を持って就職活動を始めてもらうことが目的の一つです。1回の定員は25人ですが、その3、4倍の応募があるほど人気だとか。申し込みは担当の就職